

第1回 留学生被災地ボランティア活動について

発起人：村上隆（留学生支援関連企業所属）

はじめに：

震災からまもなく私の元に大勢の留学生から「大好きな日本の復興に役立ちたい」「これまでお世話になった日本の皆さんに少しでもご恩返しをしたい」という声が寄せられました。

世界中を駆け巡った震災のニュースに、心配された母国のご両親からの勧めで一時帰国を余儀なくされた学生の皆さんも、多くは自らの意思で日本に戻り、自分に出来ることを模索しているのが分かりました。

そこで私は、ぜひ留学生の皆さんと一緒に被災地で復興のお手伝いをしたいと考え、同じ意志を持つ学校関係者、企業の皆さんに呼びかけ、行動を起こす決心を致しました。

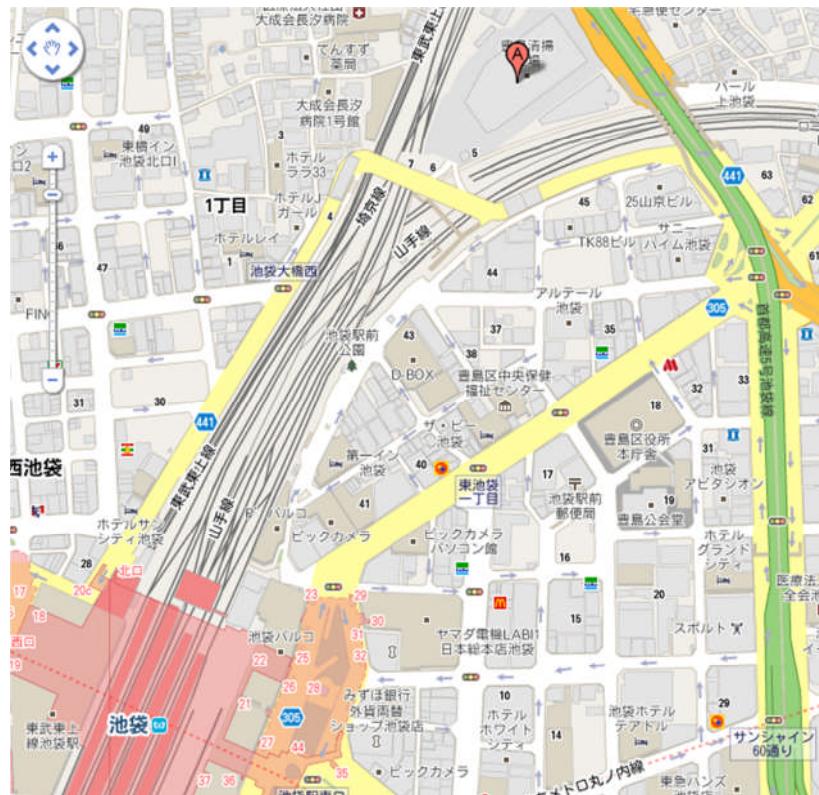
インターネット上では、「留学生が日本を捨てて逃げた」といった根拠のない情報が流されました。そういう誤解を解く意味でも、多くの皆さんにご賛同、ご協力いただき、長期的な活動として広げて行きたいと考えております。

尚、この活動について参加留学生たちから多くの費用をもらうわけにはいかないと思い、支えていただく支援金及び義援金も受け付けております。重ねてご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

ボランティア参加者説明会及び場所：

平成23年5月21日（土曜日）13時～17時予定

池袋駅北口から徒歩10分（上池袋コミュニティセンター健康プラザとしま7階 TEL:03-5974-7224）



活動予定人数：

中国人留学生 16 人男女

日本人 10 人 (カメラマン 1 名を含む)

留学生 4 人 1 グループ、グループリーダー 1 名日本人が担当

参加費：留学生 3000 円／人 日本人 15,000 円／人

活動期間：

平成 23 年 5 月 27 日 23 時 00 分 ~ 平成 23 年 5 月 29 日 12 時 00 分

活動場所：

宮城県石巻市内及び石巻市災害ボランティアセンターが指定する場所

宮城県石巻市について：

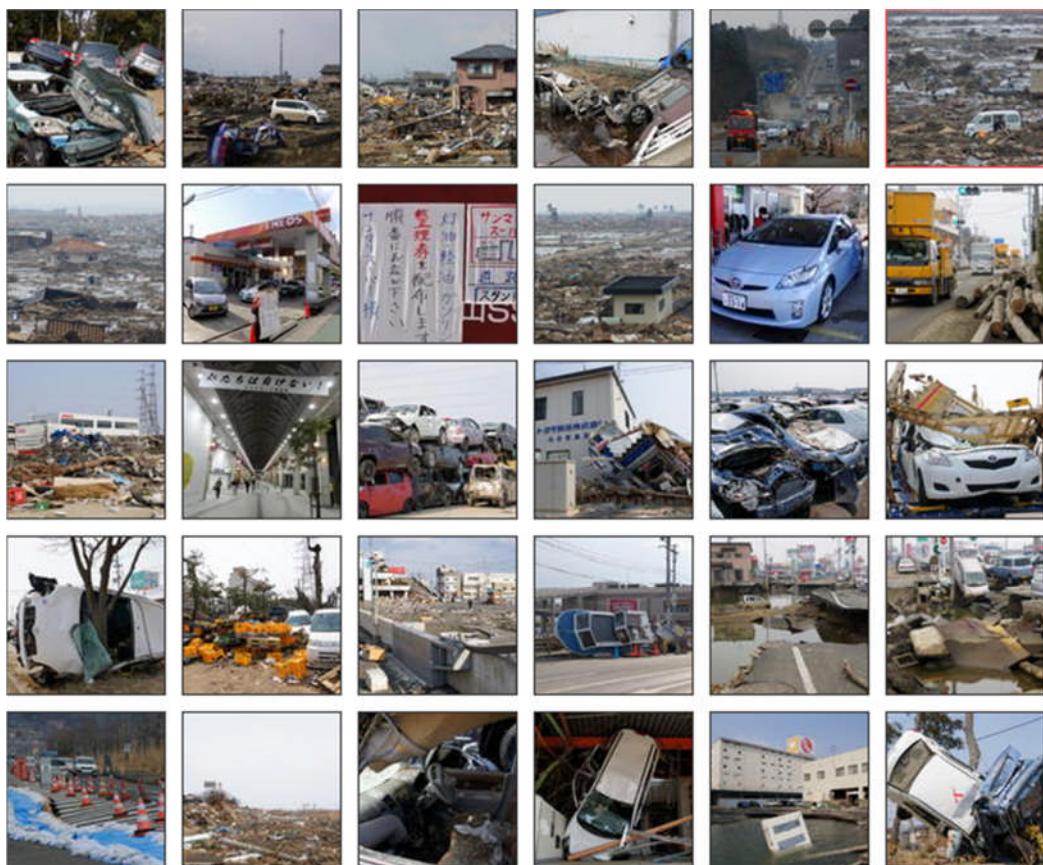
● 石巻市とは

広域合併により、市域は北上川下流の仙台平野（石巻平野）から、女川町を除く三陸海岸南端（牡鹿半島）一帯まで広がった。旧北上川河口に中心部を持ち、石巻都市圏の人口は約 21 万人（2000 年国勢調査時点）、世帯数は 59,065 世帯である（2006 年（平成 18 年）3 月末）。

金華山沖（三陸沖）では、黒潮（暖流）と親潮（寒流）がぶつかるため世界三大漁場の 1 つとなっており、漁場に近い本市は全国でも有数の水産都市となっている。市内の万石浦でカキの養殖法が開発され、世界中に広がった。

● 東京からの距離 約 400 キロメートル
往復約 800 キロメートル

● 被害状況写真



●福島原発からの距離 約 120 キロメートル



●現在の放射線量

0.12 マイクロシーベルト／h

大阪から東京に引っ越しした時に浴びる量に相当する

「全国リアルタイム放射線量マップより」

<http://atmc.jp/miyagi/>

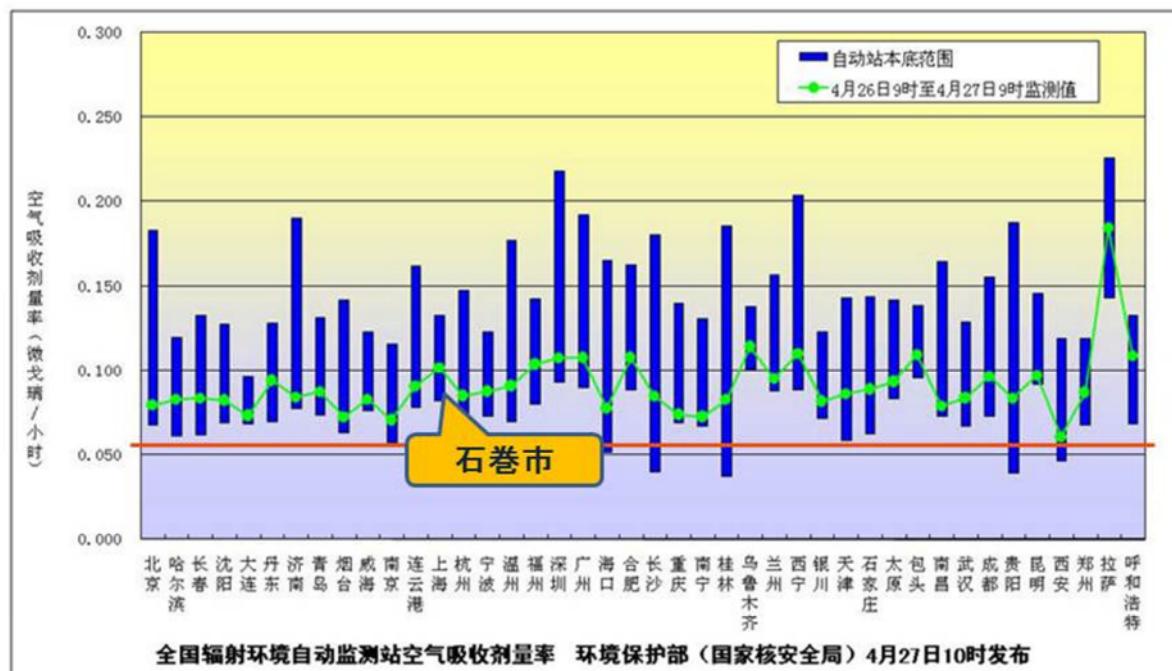


中国放射線量との比較

上海 0.14 マイクロシーベルト／h 石巻市 0.12 マイクロシーベルト／h

中国各地の放射線量

环境保护部（国家核安全局）有关负责人今日介绍说，环境保护部（国家核安全局）4月27日10时继续发布全国省会城市和部分地级市辐射环境实时空气吸收剂量率监测值。监测结果汇总图中绿色曲线代表监测值，蓝色柱体代表天然本底水平，绿色曲线均在蓝色柱体范围内。监测结果表明日本核电事故未对我国环境及境内公众健康产生影响。



活動内容：

石巻市災害ボランティアセンター職員指示の下より以下の活動を行う予定です。

物資の仕訳	物資調達・運搬	炊き出し	水運び
			
避難所や救援物資受入れセンターなどでの救援物資の仕訳	物資寄付先へ出向いての、物資の受け取り。 避難所で足りない物資の調達と運搬 運転免許	避難所や救援所などの炊き出しの材料調達と調理 調理師や栄養士の資格	避難所や被災住民宅への水運び
洗濯	入浴介助等入浴サービスの手伝い	障害者の支援	保育及び児童の世話の補助
			
避難所における洗濯や持ち帰り洗濯	避難所などにおける水汲み給湯・入浴介助 介護福祉士、看護師	避難所や被災障害者宅における障害者の支援 臨床心理士、社会福祉士、介護福祉士、点訳、手話通訳、ガイドヘルプ	避難所における幼児・児童の世話 保育士や教師の資格
被災住民の安否確認	被災住民宅の留守番・雑用	屋内・屋外片づけ	シート張り
			
被災地で安否が確認されていない家庭への訪問と安否確認	自宅被災住民が家を空ける時の留守番や「要配慮者」宅での雑用など	被災住民宅の部屋の片付け、家具の移動、屋外のガれきやゴミの片づけの手伝い	被災住民宅などでの屋根のシート張り 大工等工務技術

活動詳細日程スケジュール：

別紙 スケジュール表を参照

学生が用意する物：

国民健康保険証またはコピー	洗面具	タオル
健康保険証のコピー (身分証の代わりとして、また、万一現地で病気になったり、けがをしてしまった時に必要です) 	洗面具  歯ブラシ、歯磨き粉、石鹼 女性の場合は、いつも使用している物	タオル (大きめのものが便利です)  通常のタオル 2~3枚 バスタオル 1枚
常備薬	筆記用具・ノート	ウェットティッシュ
常備薬 (現地での常備薬の入手は困難です)  痛み止めや風邪薬、炎症を抑える薬 生理痛薬等、いつも飲み慣れている薬	筆記用具  ノート (小さめの持ち歩けるものが便利です) 	ウェットティッシュ (手を洗う水が不足している時に便利です)  市販用の物で 1~2 個
お金	着替え (往年気温 15~22℃)	水筒
お金 (ただし、大金は持ち歩かないように心がけます)  現地で自分が使うお金	汚れてもいい長袖の服 丈夫なズボン (ジーパン等) 下着、靴下 帰りの着替え服と靴	飲料水 (災害時には最も不足が予想されます) 
毛布		
宿泊するホテルがありません。 石巻市ボランティアセンターの簡易宿泊施設がありますが、毛布がありません、自分で用意してください。 最悪の場合、車の中で泊まる事も出 てきます。		

主催側が用意する物：

●防具編（人数分）



廃棄するものでも、家族にとって大切な思い出のつまつた物ばかりです。取り扱いには十分配慮しましょう。

ヘルメット	ゴーグル	防塵マスク
名札	厚手長めのゴム手袋	軍手
長靴	ホイッスルまたは安全ベル	ゴミ袋

●食品編（人数分）

飲料水	パン	缶詰
賞味期限3日以上 持つ即席食べ物		

●道具編

缶切り	ライタ	ティッシュ
角スコップ	剣スコップ	ほうき
ちりとり	雑巾	バケツ

●その他編

移動用バス	保険加入手続き（全員分）	参加証明書（学校提出用）
参加者名簿	参加申込書（学生用）	参加同意書（学生用）
参加証明書（学生用）	撮影用カメラ	撮影用動画カメラ
今回の活動に対して義援金を出していただいた関係者への礼状		

注意事項

- ・ 被災地の方と出会ったら必ず「おはようございます、こんにちは」の挨拶してください。
- ・ 必ずグループリーダーに従って行動してください。
- ・ 行動する前に必ずグループリーダーに確認を取ってください。
- ・ 一人で絶対に勝手に行動しないでください。
- ・ 必ず日本語で話してください、日本語がわからない時は中国語がわかる先生に聞いてください。
- ・ ゴミを捨てたり、ツバを吐いたりするようなマナー違反しないでください。
- ・ 家屋の片付けにおいて、散乱しているものは被災者の方の大変にしてきたものです。ごみ処理ではなく、大切なもののため、気持ちをこめて整理する心構えを持ってください。
(周りに迷惑をかけている人がたくさんいます)
- ・ 金目な物や現金など発見した場合、絶対に持ち帰らず責任者に届くようにしてください。黙って持ち帰った場合、日本では窃盗罪となり、違法です、中国に強制送還されます。
- ・ 仕事は選ばず、汚物の処理など自分で進んでできるくらいの覚悟が必要です。
- ・ 自分の健康面や体力も十分に考慮に入れ申込みと活動をお願いします。
- ・ 体調不良や怪我した場合、必ずグループリーダーに言ってください。

お問合せ先

「東日本大震災留学生ボランティア」事務局
〒344-0043 埼玉県春日部市下蛭田 197-1 サンフォーレ春日部 1-503
TEL : 048-763-3771
Softbank : 080-3244-9800
担当 : 村上 隆 (中国語も可能)
メールアドレス : volunteer@murakamiryu.com
QQ メッセンジャー : 952878528
S k y p e : murakami_509
MSN : ryu_murakami@hotmail.co.jp